

ウッディチキン／サマカレ北陸 in石川内灘

『例会レポート 166後半』

日 程	2022年8月24日(水)～25日(木)
会 場	内灘町サイクリングターミナル 石川県河北郡内灘町字宮坂に 1-3
参加者数	約 39 名(内県外 25 名)
内 容	受付 13:15～ 開校 14:00～ 2022年度テーマ 「本質を追求する」 「チーム型サロンの相互性を高める」 1日目 伊藤代表 富田氏(ワールドカフェ・ナビゲーター) 2日目久保華図八氏 北田礼次氏
親睦会	同会場 BBQ



ウッディキッチン事務局

文章・写真提供／向井 健介

セミナー3 久保 華図八氏

「やり方とあり方」

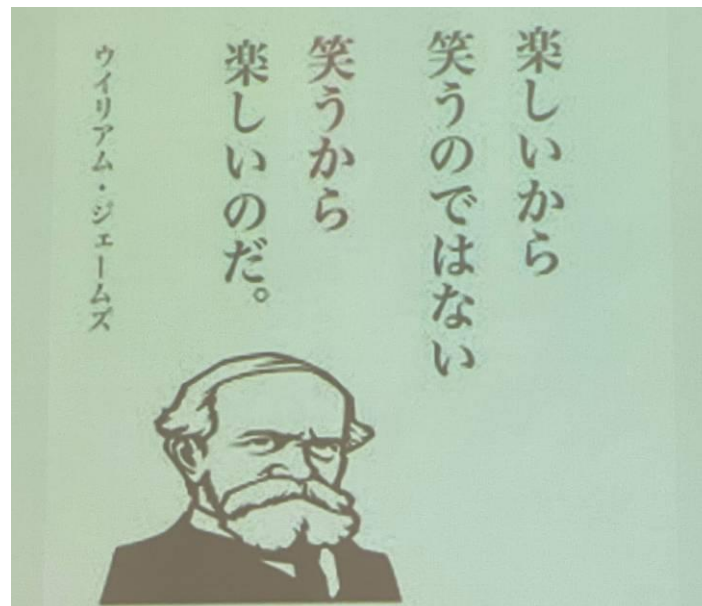
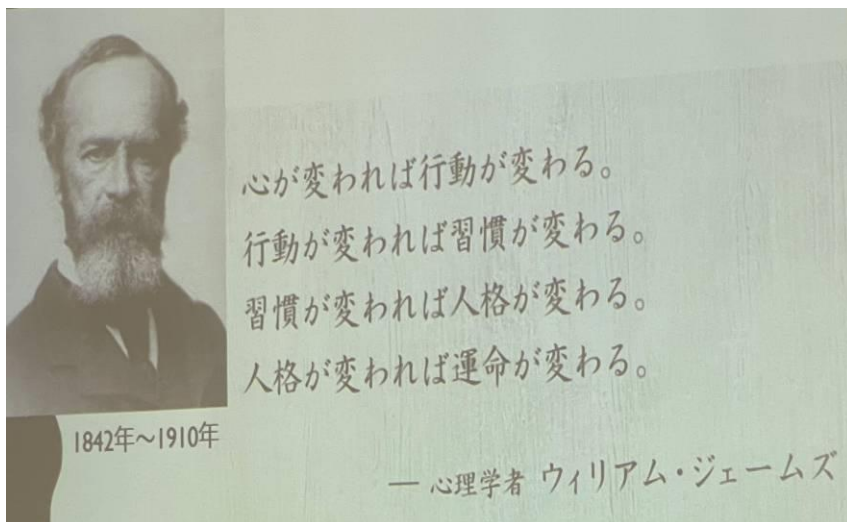
やり方とあり方では、行動が変わってきます。

よく見かけるのは、言う事とやっていることが違う・・・
勉強はしているけど、やり方ばかり考えてしまって行動に移す＝ノウハウコレクター
あり方が明確にありやり方に進んでいくことが大切です。



ウィリアム・ジェームズ

人生は、意志や決意よりも行動が大事！



朝早起きしたほうがいい 親孝行したほうがいい
わかってはいても、実践が大事です。行動しているか確認してみてください。

例えば、物価が上がると聞いたとき、値上げをして社員の給与を上げることを考えましょう。

毎回言っていますが、技術力を上げることはとても大切です。とにかくやり続ける・・・朝1時間のレッスンを継続する。
質が上がれば→単価が上がります。(結果的に)
どんな時代になっても、低料金のサロンが近くにできたとしても、技術力があれば大丈夫です。

☆社会貢献 実践者になりましょう。

心が変われば、行動が変わる

心には2つあります。積極的な心と、消極的な心です。両極端です。

心の置き所で、人生はとても変化していきます。

消極的な心を持ってしまうと、体にも影響が出てきていろんな病気になります。

☆やり方とあり方の違い

ゴルフに例えると、やり方は道具をそろえることを考える・・・ あり方は、技術力や知識を身につける。

☆あり方を身につける方法

①行動に移す時、あり方とやり方の2つを考える。

②あり方を考えるとき、未来を描くことができないとあり方は見えません。

あり方＝生き方・・・未来を描くことが大切です。

60歳の時にどうなっているのかを描く

スタイリストの方は、10年後にどうなっているのかを描くとあり方が見えやすくなります。

③やり方は短い思考で、あり方はもっと長い思考です。

目先ではなく、長期的に考えてみましょう。

④ものまねはだめです。人に聞いたことではなく、自分自身の未来を描くことが本当のあり方。

自分自身をよく知る。好きになることが近道です。積極的な考え方が求められます。

そしているんなことに TRY するとあり方の磨きがかかると思います。

⑤自身を客観的にみることが大事

☆あり方8割・やり方2割ぐらいがちょうどいいと思います。

人を育てるときもあり方を伝えて教育しましょう。

やり方を伝えても応用が利きません。

あり方の基準(下の3つを考えてチェックしましょう)

①自分にふさわしいかどうか？

②これで信頼が得られるかな？

③これで人間関係がよくなるかな？

セミナー4 北田 礼次氏

テーマ「本質を追求する」 チーム型サロンの相互性を高める

☆伊藤さんから学んだこと

2021年「親密性を高める」理想の会社像を描く。共通経験の年輪。利他精神の文化、社風。

↓↓↓ 幹部の基準

2022年「相互性を高める」

↓↓↓ 絶対矛盾的同一化現象

2023年「学習する組織」螺旋的成長

アイデンティティ 独自性やらしさの強みを伸ばしていく

何のために育成するのか⇒組織のみんなのため・周りの人を幸せにする

☆自己肯定感が高まると

自己肯定感 が高まると

すべての思考が変わり
すべての感情が変わり
すべての行動が変わり
すべての習慣が変わり
すべての出来事が変わり
すべての出逢いが変わり
すべての結果が変わります

自己肯定感を持つだけで元気で明るくなります
元気で明るくなれば、勝手に気が高まります
気が高まれば、勝手に気の良い人が集まります
気の良い人が集まれば、勝手に幸せが舞い込んできます
幸せが舞い込めば、勝手に人生も仕事も成功しちゃいます

☆心のあり方

心のあり方にはステージがあります。①～⑤

知識や経験の増加は時間によって比例しますが、「心のあり方」のステージは何かのきっかけで一気にステップアップする。それは、チームワーク・チームプレイに対する意識に関係があると思います。

ステージ①の人

「求める人」の口癖

上司の対応が悪いから、やる気が起きない。

職場の環境が悪いから、集中力が高まらない。

労働条件が悪いから、モチベーションが上がらない。

正当な評価がされないから、仕事の手を抜いている。

あの人がいるから会社に来たくない。

*自分の行動や感情・人生までも他人や環境に左右されている。

ステージ②の人

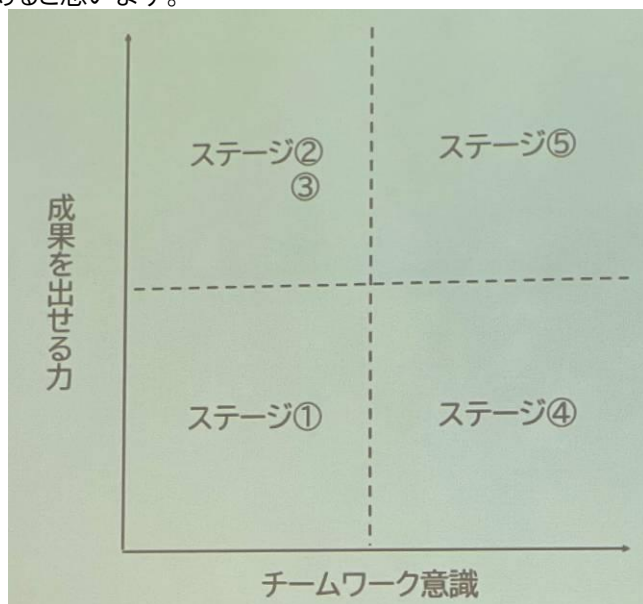
仕事を覚え始め、成果が出せるようになるこのステージになる。

仕事の成果とは、実際上司のアドバイスや手助け、

多くの人のサポート得て達成できているのに、自分の成果は「自分一人で気づき上げたもの」と勘違いしている。

短期的にみると、数字や業績が良い時期がある。口だけ達者

長期的にみると、サポートなく低迷する。



ステージ③の人

分岐点に立つと今のままではいけない。限界があることに気づき始めている。
ちゃんと成果は出ているが満足できない。何か物足りない。
焦りやライバルとの比較をエネルギー源にしている。
充実感や達成感を味わえない。ストレスを抱えている。効果より効率を考える。
口癖は時間がない・・・ 体調管理が下手。

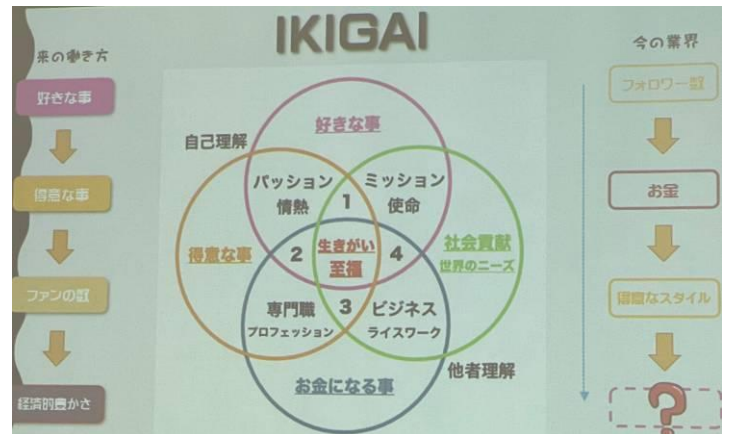
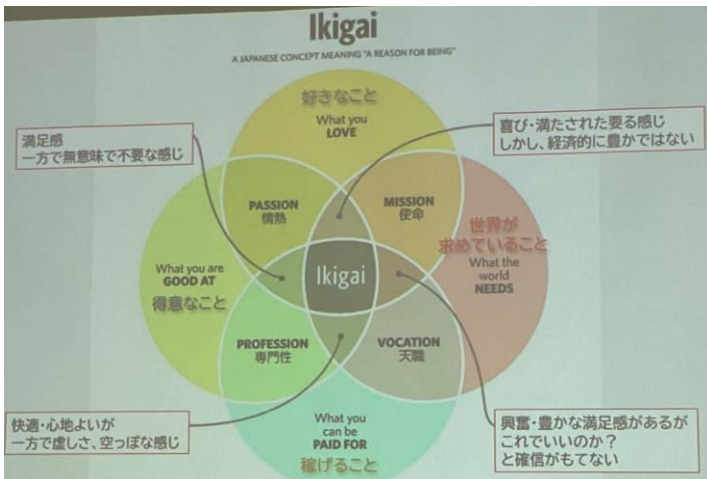
ステージ④の人

「与える人」 主体者 自分を知り、周囲を動かしていくリーダー
自分が持つ周囲への影響力を意識できている。
自分の設定したゴールやビジョンに基づいて行動できている。
人間関係は面倒なコストではなく、投資と考えている。
変化は自然に起こるものではなく、自分で起こすものとする。
信頼し合い・関わり合い・協力し合う → 繁栄していく条件

ステージ⑤の人

協働者 会社や組織のために何ができるのか
常にチームワークを意識している。 人生のバランスが取れている。
人生を楽しんでいる。 コントロールできる範囲が広い。
自分達だけでなく、関係者全員を幸福にすることを考えている。
四方喜

☆生きがいマップ

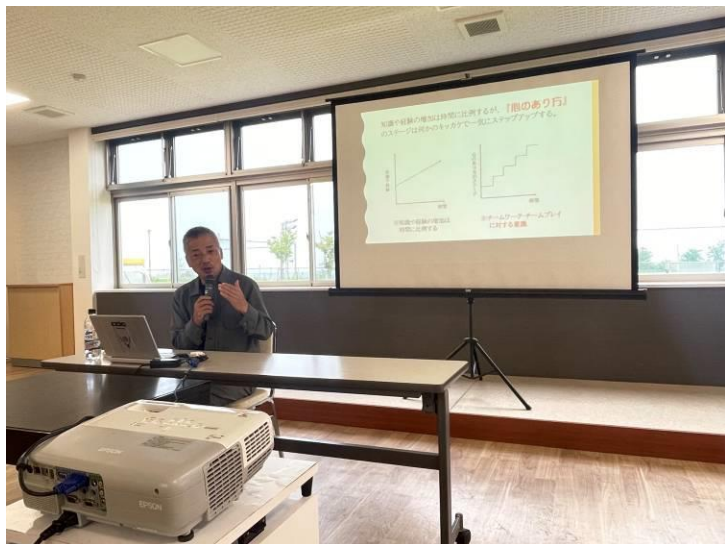


☆知・好・楽

「これを知る者は、これを好む者に如かず、これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」
日本での一般的な解釈は
「知っているだけの人は好んでやっている人にはかなわない。
好んでやっている人も楽しんでやっている人にはかなわない。」
と仕事やその他の事への取り組みを述べている。

☆最もリーダーがやらないといけないこと「勇気づける」
最もリーダーがやってはいけないことは「がっかりさせる」

以上です。



以上です。ウッディ事務局 向井健介